

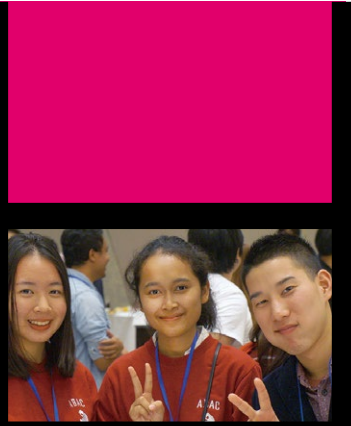
G O V E R N O R ' S

R.I.D.2650 ガバナー月信5月号

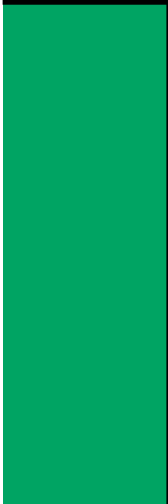
M O N T H L Y L E T T E R

May
2016

11



5月は
「青少年奉仕月間」です。



表紙の画像は、3月18日～21日に開催されました、第13回アジア太平洋地域ローターアクト会議(APRRC2016)、第28回全国ローターアクト研修会の会場で撮影したものです。

ポール・ハリスのことば

少年時代に再びもどることができるとしたら、
そして物事を自分の気に入るように
形づくることができるとしたら、
私がする最初のことは、
私自身と周囲の大人との理解を深めることです。
誰もが他の誰かを理解したとしたら、
人々のあいだのトラブルはほとんどなくなるでしょう。
少年たちを本当に援助するためには、
できる限り少年の目をもつようにすべきです。
米国カリフォルニア州 ハンティントン・パークで開かれた
少年グループでのメッセージより



Be a gift to the world
「世界へのプレゼントになろう」

2015-16年度
国際ロータリー会長
K.R.ラビンドラン

RI第2650地区スローガン

クラブに
「個性」と「憧れ」を!

2015-16
国際ロータリー第2650地区ガバナー
中澤 忠嗣



国際ロータリー第2650地区
2015-16年度ガバナー

中澤 忠嗣

4月14日に発生した「平成28年熊本地震」により亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、被災された方々に心からお見舞いを申しあげると共に、救援活動、復興支援にご尽力の皆様には、くれぐれも安全に留意してご活躍されることをお祈りいたします。

さて、4月2日、3日と京都・岡崎で開催されました、2015 - 16年度 地区大会にご参加をいただき、誠にありがとうございました。

本年度より、5月は「青少年奉仕月間」となりました。

本年度3月には、京都に於いて、日本で初めて「第13回アジア太平洋地域ロータリーアクト会議 (APRRC2016)」が開催され、同時に「第28回全国ロータリーアクト研修会」も開催されました。

近年、世界のロータリーでは、青少年奉仕が大変重要視されるようになり、そのプログラムも年々充実してきております。また、青少年奉仕事業の活動とともに、私たちロータリアンが青少年の模範とならなければなりません。

ロータリーには青少年奉仕事業をはじめ、様々な奉仕事業がありますが、どのような事業を行うにせよ、その対象なる人々の目線に立って事業を考えることも、大変重要なことであると考えます。

奉仕事業についてクラブで議論を重ねる際に、そのような視点を加えて企画され、奉仕事業が実行されたとき、今までとひと味ちがう、個性溢れ、輝きに満ちた、事業になることでしょう。

2015 学年度 米山奨学生修了式 ご報告

米山奨学委員会 委員長 富川 悟

3月12日メルパルク京都にて、2015 学年度米山奨学生修了式が執り行われ、当日は橋本パストガバナー、田中地区幹事長、マシュー・ホーランド米山学友会会長はじめ、ご来賓の方々の出席のもと、橋本パストガバナーより27名の米山奨学生に修了証が授与されました。奨学生はこの一年間、学業に勤しむと共に世話クラブの例会に出席しカウンセラーはじめ、多くのロータリアンと交流することによって日本の文化に接し、又、ロータリーの奉仕の精神に触れ自分の人生観・職業観を高めることが出来たと思います。このことは奨学生にとって人生で忘れることのない思い出の1ページとして残っていくことでしょう。

最後に一年間にわたり奨学生のお世話をいただきました世話クラブ並びにカウンセラーの皆様へ、深く感謝申し上げます。



第28回全国ローターアクト研修会並びに 第13回アジア太平洋地域ローターアクト会議 開催報告・ご協力御礼



去る3月18日～21日、第2650地区ローターアクトがホストをし、第28回全国ローターアクト研修会並びに第13回アジア太平洋地域ローターアクト会議を開催させていただきました。

第2650地区のロータリアンの皆様におかれましては、立候補から開催まで、大会へのご理解、大会運営へのご協力、ご協賛、当日のご参加と大変お世話になりました。御陰さまを持ちまして大会には1410名の皆様にご登録いただきました。

皆様のお陰で無事大会を終了することができました。ありがとうございました。

実行委員長 丸山 隆亮 (京都伏見ローターアクトクラブ)

大会レポート

Conference Report

大会は3月18日夕刻の「ウェルカムパーティー」に始まり、大会二日目においては17名の地区内外のご来賓をお迎えし、RI会長代理 当地区パストガバナー 千玄室様より「RI会長アドレス」として素晴らしいお話をいただきました。

開催期間中には、天候にも恵まれ、大会三日目には地区内14ヶ所（天橋立から奈良まで）28コースに分かれてのツアーに出かけることができました。最終日には北河原青少年奉仕担当諮問委員より「各国アクターのパフォーマンスは趣向を凝らし、若さがほとばしる熱気一杯の素晴らしさの連続でした。正にこれぞローターアクトという感じでした」とのご講評もいただきました。

今回大会を通して実行委員長の考えでもあります「心」、特に当地区は歴史や伝統、文化に溢れた地域であり、古来より日本人特有の「おもてなしの心」が大切にされ、根付いていると運営する中で感じました。

この「心」が少しでも広がり今後、世界中のローターアクト活動の一助になればと思います。

実行委員長補佐 吉岡 毅 (奈良ローターアクトクラブ)



①開会式の様子

②③④基調講演 落語家 桂かい枝 氏による「英語で落語」



⑤丸山実行委員長 ⑥中澤ガバナー

⑦北河原
パストガバナー

⑧山内副知事

⑨門川京都市長

⑩点鐘

⑪中澤ガバナーと



⑫ウェルカムパーティー

⑬全国RA委員長会議

⑭ワークショップ

⑮実行委員会



⑯⑰カルチャーナイト

⑱RAフェスティバル

⑳奉仕活動・ツアー

RI 第2650地区 2015-16年度 地区大会 報告

地区大会実行委員長 津田 純一

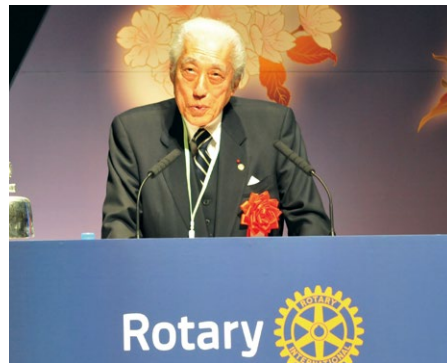
本年度地区大会は桜満開となった京都岡崎はロームシアター京都を主会場として、加藤玄静RI会長代理ご臨席のもと、4月2日・3日に開催されました。

地区内全クラブより多数のご参加を賜りました事、厚く御礼申し上げます。

本会議では、劇場の特性を活かした今までとは一味異なる演出を試み、個性あるステージにチャレンジ致しました。

そして、ロータリーの未来への希望を抱いていただける感銘深い「特別講和」、「記念講演」をお願い致しました。

また、大懇親会では、一つのフロアで交流の輪を広げ、絆を育んでいただける様心掛けました。以下、アルバムにてご報告させていただきます。



地区大会新会員セミナーについての報告

ロータリー情報委員会 委員長 高橋 行雄

平成28年4月3日、桜満開の好天のもと、京都岡崎に新装なったロームシアター京都サウスホールにおいて、国際ロータリー第2650地区大会新会員セミナーが開催されました。開会式に、加藤玄静 RI 会長代理様、元 RI 理事千玄室様のご臨席をいただいたことは、かつてないことで誠に光栄でした。加藤様には、会場の新会員にむけて力強い激励のお言葉をいただき、新会員の皆様には、これからのロータリー人生のなかで忘れられない思い出となったことと存じます。

ロータリー情報委員会主催の新会員セミナーは、2012～13年度当時の河本英典ガバナー、中澤忠嗣ロータリー情報委員長（現ガバナー）の御指導により、現在の開催方式が確立しました。今年度、新会員セミナーの基調講演を河本パストガバナーにお勤めいただき、中澤忠嗣現ガバナーのもとで、盛大に地区大会の冒頭を飾るセミナーを実施できたことは、主催担当委員会として喜ばしい限りです。

基調講演では、河本英典パストガバナーから、ロータリーを楽

しむことの大切さを、持ち前の率直な語り口でお話しいただきました。続くパネルディスカッションは、6名の新会員をパネリストにお迎えして、「明日のロータリーのために、今必要なことできること」と題して活発な意見交換を行いました。和田一繁（彦根 RC）片岡英晃（綾部 RC）米田泰子（京都田辺 RC）岡本光晴（あすか RC）山内喜代美（福井東 RC）末政靖晴（日本ロータリー Eクラブ 2650）の各氏からは、若い世代に向けた奉仕活動と情報発信の大切さ、幅広い年代の人たちをロータリーに呼び込むことの必要性、これから取り組みたいロータリー活動、などを中心に建設的な意見発表が語られ、その熱意は会場の皆様とも共有できたことと思います。

セミナー運営面では、ガバナー事務所幹事団、地区大会実行委員会の全面的なご協力をいただきました。ロータリー情報委員会一同心から感謝いたしております。早朝からの地区大会新会員セミナーに参加された新会員の皆様にはほんとうにありがとうございました。これからのロータリーでのご活躍に、声援をお送り申し上げます。



2015 - 16 年度地区大会青少年フォーラム・青少年交流会

インターアクト委員会 委員長 伊藤 勝悟

今年度の青少年フォーラムは桑山紀彦氏による地球のステージの講演でした。対象となるロータリーに関わる青少年を意識した内容で、世界の厳しい実情やそこに生きる人々、特に子供たちの姿と東日本大震災の被災地の子供達の震災後の苦しみの中から未来を目指して強く生きる様を映像や語り唄を通じて伝える講演で時の経過を忘れるほどの感動に満ちたひと時となりました。

また、午後の交流会では班を編成してロータリーアクターをリーダーに美術館、動物園など岡崎周辺を巡りました。当日は大変混雑していましたがグループごとによく纏まって、みやこめっせに戻ってきた時にはすっかり打ち解けて、班ごとの行動が仲間意識を高めて目的である交流の成果が見られました。



初のクラブバージョン「RLI in Fukui」を開催し、会員の熱気が進った！ 福井ロータリークラブ 職業奉仕委員長 片岡 正明

『ロータリーをもっと深く知りたい、奉仕を実践するための研修をやって欲しい』等の会員の声を受けて、2016年1月28日、午後の3、5時間を費やし、RIのRLIプログラムをアレンジの上、「RLI in Fukui」を開催し、全ての進行内容や参加者意見を2月18日発行の会報及び口頭発表を通じて、全メンバーに公開しました。

開催当日はグループリーダーがファシリテーター（進行役）となり、(1)職業倫理と職業奉仕(2)ロータリー財団、米山記念奨学会、ニコニコ箱等の慈善寄付(3)自クラブの伝統、戦略計画等の各セッションについて、3グループ×3ステージで入れ替わり、在籍年数の長短が混合した延72名の参加メンバーからの白熱の意見は続出となり、1ステージ50分のセッション毎ディスカッションは瞬く間に経過しました。

参加者の感想として「半日もの間、ゆっくりとRCについて深く考えることができ、理解が深まった。難しい題材での話なので、肩が凝るかと思ったが、皆さんがざっくばらんに話されていたので時間の経つのも早く、楽しいディスカッションとなった本日は参加して大変良かった。ロータリーそのものを以前より理解でき、

深さを知ることが出来た。一番の印象に残ったことは「職業奉仕」で、難しく考えてきたが、実はシンプルな、とても大切なことなんだと自分なりに落とし込むことが出来た。又、先輩達の意見も刺激になり、共感もあり、新たな気づきを得た、勿論、財団や米山のことも理解が進み、参加させて頂き感謝している」等々の士気昂揚の意見が数多く寄せられました。



京都駅八条口総合案内板寄贈事業の報告 京都南ロータリークラブ 第1奉仕プロジェクト委員会担当理事 藤本 高全

2014年より行われている、京都駅八条口駅前広場再開発事業で、新たに設けられました二階デッキの拠点広場「みやこ夢てらす」に、バス乗り場や近郊の観光スポットを紹介する案内看板を、本年度社会奉仕事業として、京都南ロータリークラブから京都市に寄贈しました。

案内看板は、みやこ杣木や、琳派の草花図をモチーフとした文様を印刷した和紙を用い、和の雰囲気を作り出すものとなりました。

3月28日に行われた京都市主催の京都駅八条口駅前広場整備事業プレオープン式典において、案内看板の除幕式が片岡会長や門川京都市長の手で行われ、多数の参加者に披露されました。そ

の後、京都市長より片岡会長に感謝状が授与されました。その模様は、NHKなどテレビのニュースで放映され、京都新聞などに掲載されました。

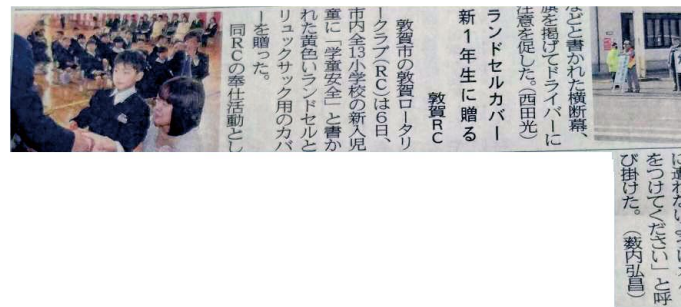
国際観光都市京都の玄関口に、多くの情報を提供できる看板を設置することで、多くの来訪者・観光客の利便性を高めるとともに、寄贈者の名を入れることによって京都南ロータリークラブの公共イメージを向上することができました。



幼い世代を地域で見守り、地域で育てる、ランドセルカバーの贈呈 敦賀ロータリークラブ

敦賀では満開の桜の中で4月6日に小学校の入学式が行われました。市内の13校約600名の新1年生全員に敦賀ロータリークラブから安全ランドセルカバーを贈呈しました。これは昭和39年から続けているものですが、当時は交通事故激増の時代で幼い児童を痛ましい交通事故から守りたい思いから始めたものです。近年は交通事故はかなり減少してきましたが、まだまだ幼い児童が犠牲になることも多く、また、児童の連れ去り事件などの脅威も増えてきていることから、低学年特に新1年生を見える化して、登下校の際にドライバーも地域の大人もみんなで見守る意識を高める効果があると思っています。今年は今まで贈れていなかったリュックサックタイプのランドセルの児童にも特注で製作して贈ることができ、「みんなに公平」に思いを届けることができました。

各校での贈呈式でクラブの会員から保護者の皆さんや学校関係者にロータリーの奉仕活動と思いを伝えることができました。



2 月 入会者一覧

クラブ名	氏名	職業分類
福知山	小坂 尚人	旅行業
福知山	小堀 知英	旅行業
福知山西南	織田 信夫	電子工業
京都	梶島 健治	医学教育
京都南	井上 雅文	自動車小売
京都南	岡村 充泰	事務機・事務用品卸売業
京都南	生田 稔	産業用機械製造
京都南	西村 永良	証券業
京都南	村田 雅明	建築設計
京都紫野	岡田 一繁	新聞販売
京都乙訓	田中 俊幸	造園

2 月 退会者一覧

クラブ名	氏名
京都朱雀	松林 正高
奈良東	藤本 宣史
武生	加藤 渉
彦根	井戸田裕二
水口	藤澤富美雄
栗東	谷崎 潤
大津中央	松村 英治

ご逝去会員一覧

京都洛中	小西 博
奈良	三岡 嘉和
高島	鳥居 健一

訂正：京都平安RC出席率の修正。7月76.54、8月68.72、9月81.22、10月76.67、11月74.79、12月75.28へ修正。
よって京都府出席率も7月92.85、8月93.62、9月92.90、10月92.08、11月91.60、12月91.72へ修正。
97クラブ出席率も7月91.07、8月90.82、9月90.63、10月90.70、11月89.55、12月89.63へ修正。

インターアクト夏期研修の足跡

インターアクト委員会 委員長 伊藤 勝悟

インターアクト夏期研修は数年にわたりカンボジアを訪問しています。この度、次年度の研修の打ち合わせと過去の研修の足跡を検証してきました。

最初は2013・14年度に訪れた首都プノンペンから2時間余りのコンポンチュナン奥地の小学校で建てた小屋の検証です。当地で活動しているNGOの協力を得て研修参加者が力を合わせて作った小屋です。

素人が作った建物ですから本当に健在なのかと心配していましたが、行ってみると、当初は子供たちの休憩小屋ぐらいに思っていました。地域の大人たちの協力によって壁が作られて、現在は英語を教える教室になっています。ほっとすると同時にこのような形で立派に役立っているのを目の当たりにすると感動してしまいました。

当時、完成した小屋に集まって撮った記念写真に写っている子供は数人しかなくなりましたが写真を見せると私たちのことを覚えてくれて親しみを込めて迎えてくれました。すっかり大きくなっています。卒業した子供、また、家の仕事のために就学を諦めた子供もいるとのことで厳しい現実寂しさが心を過ぎりました。

小屋の前に立つと暑い中で汗を流しながら、穴掘りや土運び、重く硬い木材に苦勞しながら頑張ったアクター達の姿を思い出します。

就学を諦めた子供も含めて、共通の時を過ごした子供たちが大人になってもあの日のことを忘れずに日本から来たお兄さんやお姉さんと作業したこと、そして楽しい時間を過ごしたことをいつ

までも忘れずに語ってくればこの上もなく幸せです。

前触れもなく突然の訪問で校長先生はお留守でしたが先生方も授業を中断して歓迎してくれました。そして、大きく変わったことは以前は遠くから歩いて通学していた子供たちが今は自転車を使っています。これも誰かが日本から運んだものなのでしょう。

また、翌日には次の年度に訪問したバタンボンの奥地の小学校へも行きましたが残念ながら当日は国民の祝日で学校は休みで誰もいませんでしたが、協力して出来た給水塔や子供たちと遊んだ校庭を懐かしく眺めました。

暑い陽の下で当時の喧騒を思い浮かべることも幸せなひと時です。また、毎年地雷の除去現場の視察でお世話になっているCMACの事業所を訪問しましたが此処もまた休日で誰もいません。ただ守衛の担当者は私達のことを知っていて休日にも拘わらず所内の見学を許してくれました。その後、いつも訪問して何らかの作業をしている孤児院を尋ねましたが責任者の岩田亮子さんは日本に帰っておられお会いすることが出来ませんでした。子供たちとお坊さんに会って改めて私たちの訪問を期待されているのが良く解りました。

私たちがカンボジアの子供や人たちに何かをしているのではなく逆に私たちが無形の多くのものを頂いていることを研修を通じて感じました。今後も、目的地は変わってもインターアクトの夏期研修はアクター自身が行動することによって共に感動を得ることが出来るだけでなくアクターの成長に役立つ事業として続ける事の大切さを痛感しました。



出来たての小屋で



現在の英語教室、学びましようの看板



いつも笑顔の子供達

Rotary District 2650



Kyoto
Nara
Shiga
Fukui

国際ロータリー第 2650 地区

2015-16 年度ガバナー 中澤 忠嗣

ガバナー事務所 ●
〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町 614 番地 新京都センタービル 5 階 520 号室
TEL: 075-343-2650 FAX: 075-343-2651 E-mail: gov2015-16@rid2650.gr.jp